

# 本古知新

論語にある「温故知新」をもとにして図書館といえは「本」、五所川原市立図書館といえは「古」くからの郷土資料が多く揃っているという当館らしいタイトルを考えました。読み方は「ほんっこちしん」と津軽弁で読んでください。

※ちは津軽弁独特の「ち」と「っ」の中間の発音です。

## 【表紙第8号-1】

8月1日に「五所川原子ども司書」として認定された佐藤さん。ドロシーたちの様々な冒険が楽しめる『オズの魔法使い』をおすすめしてくれました（J/933/ホ）。中でくわしく紹介しています。



発行 五所川原市立図書館

〒037-0046 五所川原市字栄町119

TEL:0173-34-4334

FAX:0173-34-3256

E-mail:tosyokan@city.goshogawara.lg.jp



# 本古知新

論語にある「温故知新」をもとにして図書館といえば「本」、五所川原市立図書館といえば「古」くからの郷土資料が多く揃っているという当館らしいタイトルを考えました。読み方は「ほんっこしん」と律軽弁で読んでください。

※<sup>ろ</sup>は律軽弁独特の「ち」と「つ」の中間の発音です。



【表紙第8号-2】  
8月1日に新たに「五所川原子ども司書」として認定された荒関さん。『ジュニア空想科学読本』をおすすめしてくれました（J/408/シ/1）。中でくわしく紹介しています。

# 本古知新

論語にある「温故知新」をもとにして図書館といえば「本」、五所川原市立図書館といえば「古」くからの郷土資料が多く揃っているという当館らしいタイトルを考えました。読み方は「ほんっこしん」と律軽弁で読んでください。

※<sup>ろ</sup>は律軽弁独特の「ち」と「つ」の中間の発音です。



【表紙第8号-3】  
8月1日に「五所川原子ども司書」として認定された亀山さん。『魔法の庭ものがたりペパーミントの小さな魔法』をおすすめしてくれました（J/913/ア/3）。中でくわしく紹介しています。





今回は、社会教育課の江戸さんから夏休み期間に実施した夏休みミニ展示「昔の道具を知って未来の道具を發明しよう」についてお話を聞きました！



7月19日から8月25日まで、市立図書館ロビーにて五所川原市歴史民俗資料館所蔵の民具と関連する資料の展示及び使い方を調べ、新しい道具を考える企画を実施しました。今回の展示に協力してくださった社会教育課の江戸さんにお話を聞きました。



今回の企画展では、「ハエ取り器」「てんつき」「アイロン」「ミシン」「ゆたんぼ」「エンジコ」の6つを展示しました。お借りした6つの民具を、期間中、3回に分けて2つずつ展示しました。昔の道具についての図書を展示し、名前や使い方を調べてもらい、さらにより便利になるような未来の道具を考えてもらいました。夏休み期間中ということもあり、全部で13個の未来の道具が發明されました。ほとんどの小学生でしたが、一部、中学生も参加してくれました。「アイロン」「ミシン」「ゆたんぼ」は現代のものと同じ形にしているのわかった人が多かったようですが、「ハエ取り器」「てんつき」「エンジコ」は難しかったようです。



江…これら6つの民具は姿形を変え今も使われているものです。各家庭に電気が通ることにより電化製品に変わったもの、木製だったものがプラスチック製に変わったものなど、より手軽に、より便利に使うために現在まで変化してきました。民具は使う人の「もっとこうなれば使いやすいの」という思いがあり変わっていくものです。今回考えてもらった多くの「未来の道具」もいつか本当に実現するかもしれません。

次代を担う子どもたちに、昔の人々の暮らし、そして知恵を知ってもらい、楽しく未来を考えてもらうよいきっかけとなったのではないかと思います。江戸さん、お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。また、未来の道具を考えてくれたみなさん、ありがとうございました。

## 図書館情報

## 11名の五所川原子ども司書誕生！

7月23日から8月1日にかけて、2019年度(第4期)五所川原市子ども司書養成講座が開催され、市内の小学4～6年生11名が、図書館や図書館の仕事について9回の講座を受講しました。最終課題を提出した11名全員が、新たに五所川原子ども司書として認定されました。どのような内容を学んだのか、簡単にご紹介します。

第1回:図書館のこと、司書のこと  
図書館とはどんなところなのか、歴史、司書の仕事について、難しい法律と合わせて学びました。

第2回:NDCってなあに?  
図書館の基礎となるNDC(日本十進分類法)について学びました。本の内容から分類を推理するクイズにも挑戦しました。



第3回:図書館に行ってみよう  
青森県立図書館、青森市民図書館、青森県立保健大学附属図書館の見学に行きました。五所川原とは違った図書館を楽しみました。

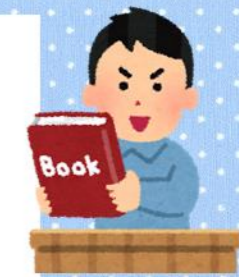
第4回:カウンターのお仕事にちょうせん!  
貸出や返却、本を棚に返す排架を行いました。認定後の活動でも行うので大事な回です!



第5回:レファレンスってなあに?  
調べ物のお手伝いをする「レファレンス」について学びました。実践として、自分について資料を使って調べてみました。

第6・7回:本はどうやってできているの?  
めざせ!本のお医者さん  
本の仕組みを学び、破れたりページが外れてしまったりした本の修理の仕方を学びました。

第8・9回:本を紹介してみよう!  
読み聞かせにちょうせん!  
おすすめの本の紹介の仕方や、読み聞かせの方法を学びました。



## 五所川原子ども司書、夏休みの活動報告

### カウンターのお仕事

- ・本の貸出・返却、排架
  - ・新しく入った本の検収・登録
  - ・破れた本、ページが外れた本の修理
- などを行いました。

### 「五所川原子ども司書が読むこわい話のおはなし会」の開催

8月11日(日)午後3時~@おはなしの部屋  
当日は18名の方が聞きにきてくれました!











# 新 知 古 本

論語にある「温故知新」をもとにして図書館といえは「本」、五所川原市立図書館といえは「古」くからの郷土資料が多く揃っているという当館らしいタイトルを考えました。読み方は「ほんっこしん」と律軽弁で読んでください。

※**ち**は律軽弁独特の「ち」と「っ」の中間の発音です。



【表紙第8号-5】

8月1日に「五所川原子ども司書」として認定された高島さん。『いちご村のお話たち 貝がらプレスレット きらり』をおすすめしてくれました（J/913/E/5）。「主人公セシナが虹色のイルカを助ける2つ目のおはなしがすき。かわいい絵もぜひ見てください。」